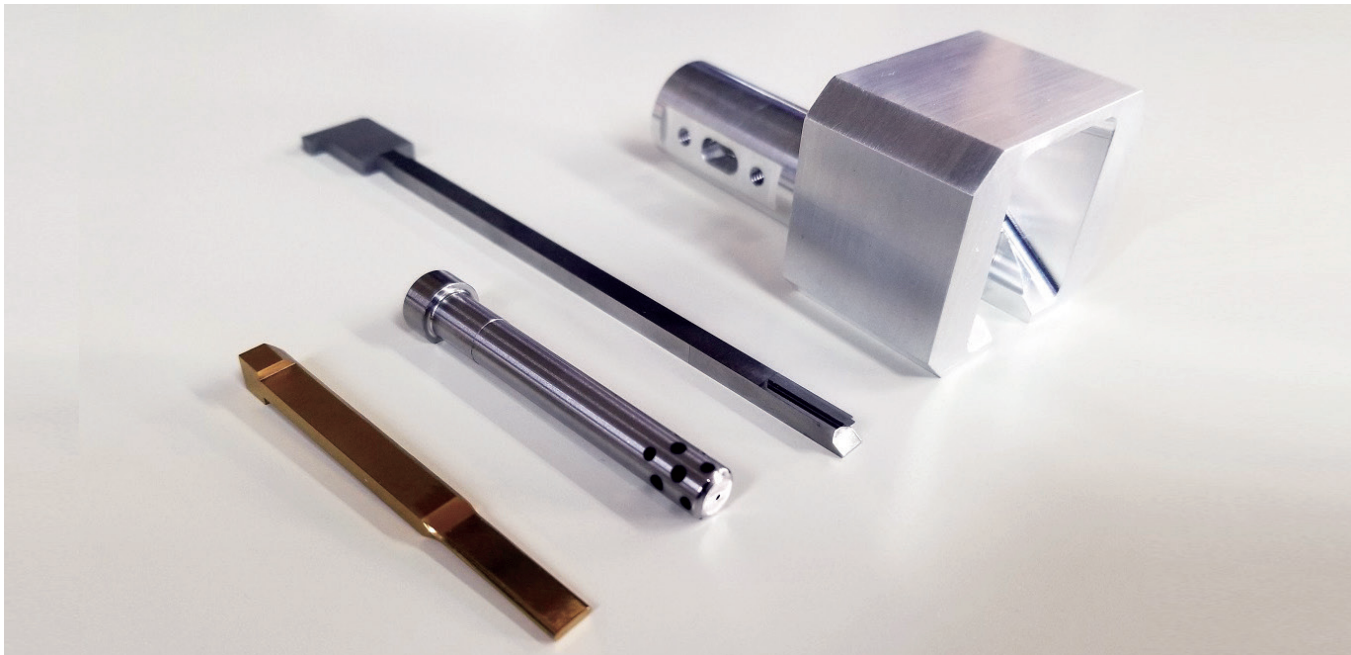




製品

# 精密金型部品に特化。 充実設備と技術力で対応

## 株式会社 酒井製作所

### 事業内容と沿革

#### 自動車分野を中心に展開。 海外でも高品質を実現

昭和42年4月、現社長である酒井紀博氏の祖父と父が大阪府東大阪市で酒井金型を創業。金型の製造をメインに事業をスタートした。その後、昭和61年10月に酒井製作所へ社名を変更し、金型製造に加え精密金型部品の加工にも着手。高精度プレス用金型と金型部品加工を柱に事業を展開した。平成10年11月に門真市に本社を移転。現在は精密金型部品に特化し、切削から研削、放電やワイヤーカットなど多様な加工で顧客の厳しい要求に对应している。

同社の売上げの約8割が自動車分野向けで、クラッチの構成部品やボディー、電装部品に関わる加工を得意としている。その他、産業機械関連や半導体製造装置関連など裾野の広い分野をフィールドにしているのが特長である。

海外ではベトナムに子会社「SAKAI WORKS Viet Nam」を有し、現地の日系企業向けに精密金型部品や産業機械部品、精密治具などを製造。日本で手がける金型部品の前加工にも取り組んでおり、海外でも国内と同様の技術と品質を実現している。

金型部品加工の分野では50年以上の経験を持ち、実績も豊富であるが、新たな加工技術への研鑽にも余念がない。

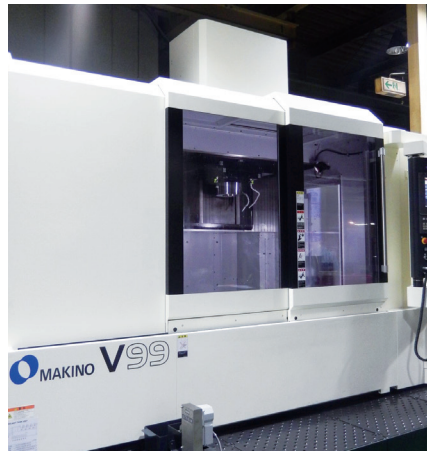
### 強み

#### 充実した設備と職人技で 顧客の満足度を向上

豊富な設備と職人技で、難加工材に対しても高い加工精度を誇る。特に焼入れ後の鋼の加工や、3次元複雑形状の金型加工に強みを持ち、3次元形状を組み入れた複合技術に対する顧客の評価は高い。これら多様な加工を社内で一貫対応できるため、量産から試作、多品種・小ロットまでを低コストで迅速に提供できる。ただ、「多品種・小ロット・短納期」は今や当たり前の話。これに加えて何ができるかを追求する同社が掲げるのは高精度・高品質である。酒井紀博社長は「精度を高めるため常に設備は更新している。中小の同業他社では導入されていないようなマシニングセンター（MC）や治具研削盤を設置しており、厳しい顧客ニーズに对应している」と強調する。

自慢の設備はNCマシニングセンター（MC）を複数台、その他、NC旋盤やNC治具研削盤、NC放電加工機などを充実させており、3次元測定機など検査機器も完備している。

また、これらを操る熟練技術者の技能も同社の武器であり、充実した設備と作業者の技術力で顧客の満足度を高めている。



高精度マシニングセンター



高精度治具研削盤



ベトナム工場



社屋

企画・提案

試作・受託

短納期対応

多品種少量

量産対応

コスト相談

海外対応

### カドマイスターの取り組み

#### 外国人の採用で 人材不足の課題に対処

中堅・中小企業の人材不足が叫ばれる中、同社は8年前からベトナム人の人材確保に取り組んでいる。国内で生産管理や機械加工の研修を行い、ベトナムの子会社に派遣。現地での受け皿を設けることで、短期間での離職の課題を解決している。逆にベトナム子会社で優秀な人材を国内にも派遣。このような臨機応変の取り組みにより、国内とベトナムそれぞれの拠点で高品質加工を維持している。

#### 若手の人材確保に向け 企業イメージの向上を図る

ものづくりの現場では熟練作業者の技術をいかに上手く引き継ぐかという課題への対応が求められる。これを滞りなく進めるには人材確保が不可欠である。同社は従業員の平均年齢が国内で40歳代、ベトナムでは30歳代と若いのが特長。若い人材の確保に向け、現場での5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動の徹底や、カドマイスター制度の活用による企業イメージの向上に取り組んでいる。

#### 従業員の技術力と設備力を生かした 一貫体制で需要拡大を目指す



代表取締役  
酒井 紀博さん

充実した設備と従業員の技能が自慢です。金型製造から事業を開始し、現在は精密金型部品の加工に特化して自動車分野や産業機械分野へ製品を提供しています。加工から検査、出荷に至る一貫体制が強みです。ベトナムにも製造拠点を有し、海外展開に力を入れています。国内で積極的にベトナム人研修生を受け入れ、スキルアップの教育を施した後、現地で就労してもらうなど受け皿も整えています。求職者から見ればものづくり現場に対しては消極的なイメージを持たれると思いますが、当社は5Sを徹底し、職場環境の整備にも気を配っています。

#### 主な事業内容

精密金型部品加工および精密機械部品加工、精密治具の製作

#### 主な取引先（納入先）

自動車部品メーカー、産業機械メーカー、半導体製造装置メーカー

【住 所】〒571-0073 大阪府門真市北巢本町36-7  
【TEL】072-882-5855  
【FAX】072-882-6267  
【創 業】昭和42年4月 【設 立】昭和61年10月  
【資本金】1,000万円 【従業員】20名

### 今後の展開

#### 国内、海外ともに技術向上で 販路拡大を狙う

今後は品質と技術力のさらなる向上を図り、これまで以上に若手の育成に力を入れる。これと並行してISO9000とISO14000の認証取得にも取り組んでおり、品質と環境のマネジメントを徹底する方針である。

需要拡大に向けては国内の自動車分野における市場の深耕に力を入れる。酒井社長は「ハイブリッド化などに伴い、自動車の電装化はますます進んでいく。電池や半導体に関わる精密加工のニーズは増えてくるだろう。まだまだ伸びしろがある」と先を見据えている。難加工材の精密加工など、強みを生かせる分野で販路を拡大していく考えだ。

一方、海外においても自動車分野の開拓を進めていく。新興市場ではオートバイの需要が頭打ちとなり、これに代わって自動車の需要が増えているという。日系企業向けを中心に新たな加工需要を取り込んでいく。そのためにベトナム子会社における技術の高度化も追求していく。

<http://www.sakai-ss.jp/>

